
ふくしま創生総合戦略の進行管理等について

令和6年9月4日
復興・総合計画課

1 ふくしま創生総合戦略の進行管理

(1) 趣旨

- ふくしま創生総合戦略（以下「戦略」という。）に掲げた成果目標や施策の重要業績評価指標（KPI）、具体的な事業の取組状況を検証するとともに、外部機関（福島県地域創生・人口減少対策有識者会議（以下「有識者会議」という。））において御意見をいただき、戦略における政策の効果を検証し、改善を行うためのものです。（PDCAサイクルの「C」→「A」）

(2) 自己評価

- 戦略の基本目標・基本施策に紐づく事業の取組状況について、事業を所管する各部局による自己評価を実施し、**資料 1 - 2「ふくしま創生総合戦略基本施策評価調書」**により取りまとめています。
- また、成果目標や施策の重要業績評価指標（KPI）の達成状況を確認し、**資料 1 - 3「令和5年度ふくしま創生総合戦略における指標等実績値一覧」**により取りまとめています。

戦略の基本目標	戦略の基本施策【主な取組】
基本目標 1 一人ひとりが輝く社会をつくる【ひと】	(1) 一人ひとりの希望をかなえる 【結婚・出産・子育て支援、女性活躍等】 (2) 健やかな暮らしを支える【健康長寿等】 (3) 地域を担う創造性豊かな人を育てる【教育等】
基本目標 2 魅力的で安定した仕事をつくる【しごと】	(4) 活力ある地域産業を支え、育てる 【成長産業の集積、地域産業の振興等】 (5) 魅力ある農林水産業を展開する【農林水産業等】 (6) 若者の定着・還流につなげる【若者の就職支援等】
基本目標 3 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる【暮らし】	(7) 安全で安心な暮らしをつくる【地域のデジタル変革等】 (8) ゆとりと潤いのある暮らしをつくる 【まちなか活性化、スポーツ】 (9) 環境に優しい暮らしをつくる【地球温暖化等】
基本目標 4 新たな人の流れをつくる【人の流れ】	(10) 地域の多様な魅力を発信する【観光の振興等】 (11) ふくしまへ新しい人の流れをつくる【移住・定住等】

1 ふくしま創生総合戦略の進行管理

※ 自己評価基準

- ・ 達成状況……「達成」・「未達成」の判定。
(R5最新値が公表されていないものは、予測に基づき「達成見込み」・「未達成見込み」の判定。)
- ・ 見直し判定……「上方」：20%以上上向きの開きがある。
「R12達成」：最終目標値を達成。
「下方」：50%以上下向きの開きがある。
当該項目に該当の場合、指標の見直しを検討する。
(目標値と比較)
- ・ 詳細判定……「改善(+20%以上)」・「やや改善(+10%以上)」・「横ばい」
「やや悪化(-10%以下)」・「悪化(-20%以下)」の判定。(基準値との比較)
括弧書きは最新値がR5より前の数値の場合、基準値と最新値を比較した結果。

(3) 有識者会議における検証・評価

- ・ 客観的な視点からの検証・評価を行う必要があるため、有識者会議委員に検証及び評価を行っていただきます。
- ・ 成果目標の達成に向け、総合的な観点から今後どのような取組（施策レベル）を展開すべきか等について御意見をいただくことで、戦略の成果と課題の明確化を図り、今後の改善につなげます。

(4) 検証・評価の公表


- ・ (2)の自己評価結果及び(3)の有識者会議委員の検証・評価並びに御意見を取りまとめ、県ホームページにて公表します。

2 デジタル田園都市国家構想交付金の活用

(1) 概要

- デジタル田園都市国家構想交付金は、地方公共団体が主体的に策定した「地方版総合戦略」に基づき、地域独自の課題解決や発展を目指す先進的な取り組みを支援（国庫負担1/2）する国の交付金で、外部機関（有識者会議委員）の評価及び評価結果の公表が交付金活用の要件となっています。
- 本県においても、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、戦略の各目標にプロジェクト（事業）として位置づけ、様々な取組を実施し、地域課題の解決や魅力向上を図り、地方創生・人口減少対策を推進しています。

(2) 各基本目標に紐付くプロジェクト（事業）一覧

- デジタル田園都市国家構想交付金を活用した代表的な取組については、資料 1 - 2「ふくしま創生総合戦略基本施策評価調書」で  マークで示しています。
- 各プロジェクト（事業）の概要及び事業実績等については、資料 1 - 4「令和 5 年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推タイプ・地方創生拠点整備タイプ）活用状況」のとおりとなります。

2 デジタル田園都市国家構想交付金の活用

○ 令和5年度 県事業一覧

● 基本目標1：一人ひとりが輝く社会をつくる【ひと】

- スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト
 - eスポーツによる「ふくしま」活性化事業
 - ふくしまスポーツ地域活力創出事業
 - スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト
 - いわきの強みを活かした持続可能な地域づくり事業
- 福島県高齢者就業拡大支援事業
 - 高齢者就業拡大支援事業

● 基本目標2：魅力的で安定した仕事をつくる【しごと】

- ローカルイノベーションを創出する産業人材育成プロジェクト
 - REALSKYプロジェクト推進事業
 - 建設DX推進事業
 - 相双で働く産業人材確保支援事業
- IT人材育成・就業応援事業
 - 女性IT人材育成・就業応援事業
- デジタルを核とした新たな県産品販路拡大プロジェクト
 - 県産品デジタルプロモーション事業
 - 「売れるデザイン」イノベーション事業
- ビジネスから人の流れにつなげるふくしま共創プロジェクト
 - 地域創生・人口減少対策本部事業
- スタートアップふくしま創造事業
 - スタートアップふくしま創造事業
 - チャレンジふくしま中小企業上場支援事業
- ふくしまがつなぐ次世代医療機器開発・マッチング推進事業
 - ふくしまがつなぐ医療関連産業集積推進事業
- 地域で稼ぐICT関連産業創出事業
 - 先端ICT関連産業集積推進事業
 - ものづくり企業のAI・IoT活用促進事業
- ものづくり産業におけるDX人材育成事業
 - ものづくり産業におけるDX人材育成事業
- 知的財産を活用したものづくり企業育成プロジェクト
 - 次世代自動車技術関連企業支援事業
 - 開発型・提案型企業転換総合支援事業
- 魅力を伝えるふくしま医療関連産業人材育成事業
 - 魅力を伝えるふくしま医療関連産業人材育成事業
- 福島県次世代航空モビリティ・宇宙産業集積推進事業
 - 航空宇宙産業集積推進事業
- 福島県産学官連携による脱炭素社会推進事業
 - カーボンニュートラル・水素関連産業推進事業
 - テクノアカデミーにおけるZEH技術者育成事業
- 福島県産医療機器ステップアップ支援事業
 - 福島県産医療機器ステップアップ支援事業
- ふくしま中小企業者等DX伴走支援事業
 - ふくしま中小企業者等DX伴走支援事業
- 福島県地域課題解決のための起業家育成促進プロジェクト
 - スタートアップふくしま創造事業（再掲）
- 農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト
 - ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業
 - 農業繁忙期解消型労働力確保・供給モデル事業

➤ 右上に続く

- 農業短期大学校施設統合整備計画
 - 農業短期大学校施設統合整備事業
- 「ふくしまの宝」をつないで稼ぐプロジェクト
 - ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業
 - ふくしまの畜産復興対策事業
 - ふくしまの元気を創る地域産業6次化推進事業
 - スマート農業プロセスイノベーション推進事業
 - 食の担い手応援事業
- 中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト
 - 鳥獣被害対策強化事業
 - みんなでつなぐ誇れる中山間地域等農業推進事業
 - 「ふくしまならではの花き」産地育成支援事業
 - みんなでチャレンジ！環境保全型農業拡大事業
 - 果樹園地継承促進事業
 - 福島大学と連携した地域農業モデル創出事業

● 基本目標3：暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる【暮らし】

- 多文化共生推進事業
 - 多文化共生推進事業

● 基本目標4：新たな人の流れをつくる【人の流れ】

- 奥会津の魅力を活かす！レールがなくなると自然と食の満喫モデル構築事業
 - ふくしまグリーン復興推進事業
 - 「来て。乗って。」絶景、只見線活用事業
 - 文化財等を活用した誘客促進事業
- ニューノーマル観光モデル創出からはじめる地域活力向上計画@ふくしま
 - 観光地域づくり総合推進事業
 - 観光デジタルプロモーション強化事業
 - 「会津磐梯山エリア」地域の宝磨き上げ事業
 - 「しらかわスタイル」マイクロツーリズム推進事業
- 地域資源活用による観光交流しごと創出プロジェクト
 - 自転車の活用による健康づくり推進事業
 - 健康長寿ふくしま推進事業
 - エクストリームツーリズムブランド強化等事業
 - ふくしまインフラツーリズム推進事業
 - 地域とつながる交流人口拡大事業
 - ふくしまと真ん中まるごと体験周遊推進事業
 - 南会津つながり深化事業
 - 相双地域交流人口・関係人口拡大事業
 - 南会津地域ブランド化事業
- 「転職なきふくしま暮らし。」推進プロジェクト
 - 「転職なきふくしま暮らし。」推進事業
 - パラレルキャリア人材共創促進事業
 - 地域を担う移住・定住・関係人口拡大事業
 - 首都圏からの移住推進＆就職先マッチング支援事業
 - 会津地域移住・定住促進事業
- 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点事業
 - 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点事業
- 福島県広域連携による人材還流促進プロジェクト
 - ふくしま移住支援金給付事業
 - ふくしまで働こう！就職応援事業

3 各地方振興局による重点施策推進加速化事業の活用

(1) 概要

- 人口減少をはじめとした各地域が置かれている現状や抱える問題は複雑多様であることに加え、本県は震災・原発事故からの復興という難しい課題を抱えており、本庁と各地方振興局が有機的に連携して多角的・総合的に取組を進める必要があります。
- そこで、地域の実情を熟知する各地方振興局が、全庁を挙げて取り組まなければならない地方創生・人口減少対策の重要課題に対して、地域の特色を最大限活かしながら戦略的に取組を「重点施策推進加速化事業」として展開することで、本庁事業との相乗効果を高めながら課題解決に向けた地域力の向上を推進しており、こちらについても有識者会議委員に検証・評価いただくことで、より高い成果が得られるよう改善へとつなげてまいります。

(2) 各基本目標に紐付く地方振興局事業一覧

- 戦略の各目標の達成に向け、重点施策推進加速化事業に基づき各地方振興局が令和5年度に実施した具体的な事業は以下のとおりです。
- 各事業の概要及び事業実績等については、**資料1 - 5「令和5年度重点施策推進加速化事業の効果検証について」**のとおりとなります。

● 基本目標1：一人ひとりが輝く社会をつくる【ひと】

○ 高校生meet upふくしま！プロジェクト

地域プレイヤーと首都圏等関係人口によるワークショップを開催し、高校生等が地域プレイヤーから仕事や地域にかける思い、自身の進路選択の過程を聞くことで、地元への愛着を深めるとともに主体的な進路選択につなげる。

県北
地方振興局

○ サウナヴィレッジしらかわ推進事業

県南9市町村全てに存在する「サウナ」をフックとして、交流人口・関係人口の拡大を図るとともに、サウナ利用者へ健康づくりの意識啓発を併せて行うことで、相乗効果を生み出していく。

県南
地方振興局

(次ページに続く)

3 各地方振興局による重点施策推進加速化事業の活用

●基本目標2：魅力的で安定した仕事をつくる【しごと】

○ 伝統・食文化をつなぐ！ぐるっとそうそう広域周遊事業

将来の移住・定住につながる交流・関係人口の拡大、特産品等の物産振興・地産地消の促進、伝統・食文化の継承、地域産業の持続的発展の促進を図る。

相双
地方振興局

○ 「いわき自転車合宿『聖地』化プロジェクト」事業

浜通りでは、自転車を活用した地域づくりが活発になっていることから、大学自転車部合宿誘致をさらに「シンカ」させ、「聖地」としての地位を確立し、自転車による持続可能な地域づくりを進める。

いわき
地方振興局

○ いわきを支える企業情報発信力強化事業

学生等が市内企業とone to one でつながるSNS等を活用した企業の情報発信支援や、いわき市外(特に首都圏)在住大学生等を対象としたオープンカレッジ的な複数企業による見学会の実施に向けた支援を行う。

いわき
地方振興局

●基本目標3：暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる【暮らし】

○ 「会津DX日新館」事業

会津地域13市町村と県内高等教育機関、県等が連携して課題解決を図っていくための持続的な仕組み構築を図る。

会津
地方振興局

○ 市町村行政DX推進支援事業

行政DXを効率的かつ効果的に推進することにより、住民サービスを維持し、さらに充実させることで住民が人生100年時代を健康で文化的な満足度の高い生活を送ることができるようにする。

会津
地方振興局

○ ローカル線（只見線、会津・野岩鉄道）で行く、南会津まるっと周遊事業

南会津地方周遊ツアーを実施することで、参加者に南会津地方の魅力を体感していただくことにより、ローカル鉄道の利用促進と南会津地方への移住・定住につなげる。

南会津
地方振興局

○ 『南郷刺し子』文化の魅力発信・継承促進事業

高校生等との協働や、新商品開発支援により、「南郷刺し子」文化の新たな魅力を創造するとともに、この取組を通じて高校生への郷土に対する誇り・愛着の醸成を図る。

南会津
地方振興局

●基本目標4：新たな人の流れをつくる【人の流れ】

○ 地域のしごと魅力体感・つながりづくり事業

イノベ構想重点分野等で活躍する企業や県北地域で活躍する企業について、体験等を通して子どもたちやその保護者に知ってもらうことで、「地域のしごと」に対する愛着心の醸成、地域企業に対する理解促進を図るとともに、イノベーション・コースト構想推進機構やふくしま田園中枢都市圏と連携し、イノベ構想の波及促進や地域企業の参画促進につなげる。

県北
地方振興局

○ ふくしまワーク&ステイ推進事業

県外の移住希望者などを対象に、県中地域とつながるきっかけとなる短期移住体験やお試し就業体験、地域交流体験の機会を提供し、関係人口の創出やU・Iターンを推進、将来的な移住・定住につなげる。

県中
地方振興局

○ しらかわスタイル関わりびと創出事業～新しい働き方から始まる新しい交流のかたち～

“しらかわ地域”に関わったことのない人々を対象として、「テレワークタウンしらかわ」の取組をさらに深化させ、しらかわ式の「関わりびと（関係人口）」を創出していく。

県南
地方振興局

○ 南会津移住サポート推進事業

地域での移住者受入体制を構築するとともに、移住希望者が実際に地域を訪れ一定期間生活を体験することにより、移住までのロードマップを示すことで移住・定住の促進を図る。

南会津
地方振興局

4 新型コロナ対策臨時交付金の活用

(1) 概要

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(以下「臨時交付金」という。)は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等に自由度高く活用可能であり、各地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう創設され、令和2年度から令和5年度にかけて地方公共団体に交付されました。
- また、令和4年度以降はコロナ禍において原油価格・物価高騰等による影響を受けた生活者や事業者の負担軽減への支援等の観点も加わり、コロナ禍や物価高騰等への影響を広く支援する取組に活用されました。
- こちらについても有識者会議委員に検証・評価いただくことで、将来の備えやより高い成果が得られるよう改善へとつなげてまいります。

(2) 取組状況

- 臨時交付金を活用した本県の取組について
「**1 医療の維持・感染症の拡大防止**」、「**2 生活者への支援**」、「**3 事業者への支援**」
の3つの観点で事業の実施状況、主な事業等を概括的にまとめています。
- 各取組の概要及び事業実績等については、資料1-6「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金福島県での活用状況について」のとおりとなります。